が普通だった

火をつけるの

よ。でも、す

ね。マッチで はまきだった たから、燃料 な物はなかっ 口なんて重宝

昔のはそんなことはでき 器は保温ができるけど、

な火が出たりして、前髪

スがたまってボッと大き 開くのが早すぎると、ガ 火が消えちゃうし、栓を てね、ぼやぼやしてると

を焦がしたこともあった

入れて使うの。今の炊飯

がまと外がまの間に水を

が二重になっていて、内

の。その間合いが難しく 栓をひねって火をつける

で冷やすの。

昔の炊飯器は、おかま

まうから、火 ぐに消えてし

> ほんとうにたいへんだっ はんが焦げてしまって、 から、うっかりするとご 火加減がうまくできない ね。ガスコンロのように が強くなりすぎたりして たと思ったら、今度は火 くてね。やっと燃えだし かり出て、目にしみて痛

に、おひつをわらで編ん

だかごに入れて、それを

まで何升もいっぺんに炊

今思うと、大きなおか

いたごはんは、ほんとう

たごはんはおひつに移し なかったよ。炊きあがっ

て、冬場は冷めないよう

ょ。

たいへんだっ をつけるのも

電気がまが来たときは、

ておいたの。夏は、風通 やぐらごたつの中に入れ

しの良いところに置っ

た。今ではおこげの味も に何よりもおいしかっ だから、初めてうちに

とってもうれしかった

スイッチを押すだけ

て、ごはんが傷まないよ

かまどのこ

します。

おばあさんに語ってもらう形で、

今年は、小平の昔の暮らしを、タマ あけましておめでとうございます。

8

が嫁入りしたころは、毎 とになるけれど、わたし

今から何十年も昔のこ

朝まだ暗いうちから起き

飯を炊くんだけど、うち 米を研いで、それからご んだよ。水をくんで、お て、かまどに火を入れる

にはガスコン

かなか燃えないし、煙ば

まきを入れすぎるとな

て。

見てる人もいたんだっ で、最初はずっとそばで ちゃんと炊けるか心配 て、大騒ぎしたんだよ。

ゃなくて、昔のは、最初

にマッチをすって、ガス

に、簡単に火がつくんじ

減が難しいんだよ。 言うけど、かまどは火加 ョロ、中パッパ」なんて よ。よく「始めチョロチ のは珍しくなかったんだ きなおかまでご飯を炊く ろは、ひと抱えもある大





茶かさ湯を注 と、最後に空に なった食器にお 食べ終わる

でごはんができるなんて

うに工夫していたんだ

不思議でね、これで寝て

る間にご飯が炊けるっ

昔の台所には、土間が





しのわきには、大きな水 流しもみんな土間で、流 あったんだよ。かまども のは、一段高くなった板 おくんだよ。食事をする の間で、きちんと正座し て、ひとりひとり自分用

い箱にふたがついたもの 箱ぜんといって、四角

朝、井戸からくんだ水

水道なんてないから、毎

を、この水がめにためて

がめが据えてあったの。

の小さなおぜんで食べて

それに小皿なん かが入っていて は、はし箱や飯 わんや汁わん、 箱の中に

し、その上に中 はふたを裏返 ね、食事のとき 食べるんだよ。 の食器をのせて

ಕ್ಕ

たったね。



のまましまっておくんだ でしまうの。それで、そ て、あとはすっかり飲ん ぎ、たくあんでこすっ

食事をするようになった のは、戦後になってから て、1つのちゃぶだいで 家族みんなが畳に座っ

掛けてテーブルで食事を 今みたいに、いすに腰

ぐらいだったね。

この辺りは、 水が乏し

句なんかの特別なときだ

られるのは、正月やお節

白米だけのごはんを食べ

上混ぜて食べていたね。 ふだんは、大麦を半分以

も、ごはんと漬物、野菜

たんだよ。食事といって

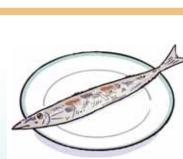
の煮物、それにおみそ汁

で採れたものを食べてい も、みんな自分の家の畑

畑で作っていたんだよ。 ら、米は、陸稲といって、

らいつでもお水が出る
今は、水くみの苦労も ょ。 ちゃぶだいを使っていた る前は、ほとんどの家で する洋風の暮らしが広ま

くていいし、ほんとうに ちいちしゃがんだりしな 楽になったもんだね。 し、食事を運ぶのに、い



まりおいしくないん 今と比べると、あん

前でのこぎりで切り出し 氷を、氷屋さんが、家の キャンデーができるっ もたちは、うちでアイス

> かった。これが、結構面 取りをしなくちゃならな るから、しょっちゅう霜

倒だったんだよ。

なかったから、おかげで を出したりすると、慌て までは、子どもが急に熱 て氷まくらに入れる氷を のだった。だけど、それ いているだけの簡単なも んの小さな製氷室が付 んかできなくて、中にほ て、大喜びしたんだよ。 初めのころは、冷凍な 行かなくちゃなら

そのころの冷蔵庫は、















ら、みんな楽しみにして たに食べられなかったか ふだんは、生の魚はめっ やさんまも売りに来た。 て、塩たらや塩ますを買 たまには魚も食べた 時々、行商人が来

軍の基地ができたんだ り食べなかったね。 って、家族みんなで、大 えるよね。 いしい物が、どこでも買 だよ。今なら、もっとお 事に分けあって食べたん い物を食べているんだね ったことがあったね。ア いていた近所の人から、 メリカ人はこんなおいし ソーセージの缶詰をもら よ。そのころ、基地で働 いたんだよ。肉はあんま 戦後、立川にアメリカ

が少なくてぽろぽろ

陸稲はね、粘りけ

してるの。だから、

になったことだよ。子ど

家で氷が作れるよう

今と違って、放っておく

と製氷室が霜だらけにな

ら、ほんとうにおい ごちそうだったか とろは白いごはんが だよ。だけど、その

いと思ってたよ。

段になっていて、下の段 ゃなくて、氷の塊を入れ で、内側にブリキがはっ て冷やしていたの。木製 てあったんだよ。中は二 に食べ物を入れ、上の段 昔の冷蔵庫は、電気じ

からだったね。今みたい

は、戦後しばらくたって

ガスコンロになったの

ね。荷車に積んだ大きな に届けてもらっていた 氷は、毎日、氷屋さん

に氷を入れて、その冷気 ちばんうれしかったの 使っていたよ。 や乾物を入れる物入れに は、氷を入れないで、粉 喜びしていたね。冬場 夏には、子どもたちが、 シャリと良い音がして、 氷のかけらをもらって大 てくれるんだよ。シャリ 電気冷蔵庫になってい

どんなに助かったかしれ



で、どうぞお寄せください。 77) または秘書広報課ま いかがでしたか? (高津安昭 (343) 60 ご感想を小平民話の会

タマおばあさんのお話

んまり困らなかったね。 て、冷蔵庫がなくてもあ 家の中でもとっても寒く

んだよ。それに、冬は、

保存する必要がなかった から、今みたいに野菜を は、大抵自分の家の畑で かもしれないけど、昔

生活なんて考えられない

今じゃ、冷蔵庫がない

採れたものを食べていた